

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.



実用新案登録願(2) 八訂号なし

昭和 54 年 4 月 10 日

特許庁長官 殿

1. 考案の名称

カセット収納ケース

2. 考案者

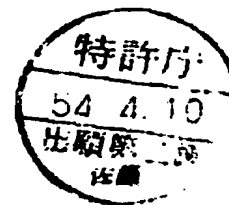
東京都八王子市大和田町7-14-11
オリンパス共同住宅140

白 子 英 夫

(ほか 名)

3. 実用新案登録出願人

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番3号
(037) オリンパス光学工業株式会社
代表者 北 村 茂 男



4. 代理人

東京都大田区西蒲田7丁目50番3号 田村ビル3階
〒144 電話 03(738)-9771(代表)

(6694) 弁理士 小 宮 幸

54 046732

方式
審査





明 細 書

1. 考案の名称 カセット収納ケース

2. 実用新案登録請求の範囲

開口部を有するケース本体と、このケース本体の対向する側面に夫々上記ケース本体の底面に近接し且つこの底面に沿って設けられる凸状係止部と、上記ケース本体の開口部を開閉するよう設けられ且つ上記凸状係止部に係止可能な係止部を有する開閉蓋とを具備し、上記ケース本体の底面と上記凸状係止部の間で取扱説明書やインデックスカード等の備品を収納可能にしたことを特徴とするカセット収納ケース。

3. 考案の詳細な説明

この考案は磁気テープカセットを収納するカセット収納ケースに関する。

従来、この種のカセット収納ケースとして第1図に示すように上方および一方の短側面を開口した例えば合成樹脂のケース本体1の対向する長側面に夫々係合穴2を形成し、また上記上面開口部を開閉するよう上記本体1の他方の短側面に一体



成形される開閉蓋 3 の側縁に上記穴部 2 に係合される突起 4 を形成し、上記開閉蓋 3 の突起 4 を上記ケース本体 1 の穴部 2 に係合可能にしてケース本体 1 の開口部を開閉するようにしたものがある。ここで図中 5 はケース本体 1 に収納されるテープカセット（図示せず）のテープハブ廻り止め用突出部である。

ところで、このようなカセット収納ケースではテープカセットと一緒にテープの取扱説明書やインデックスカード等の備品を収納することが多い。

ところが、上述した構成のカセット収納ケースの場合はケース本体 1 にテープカセットを収納し、その上に上記の説明書やインデックスカード等の備品を載せ蓋 3 を閉じるようになるため、その後蓋 3 を開いてカセットを取り出すと、これと一緒に備品がケース本体 1 から飛び出してしまい、このためこれら備品を紛失したり、汚したりあるいは破いてしまうなどこれら説明書やカードの管理が面倒な欠点があった。

そこで、上記備品に予め穴を明けておき、この



穴部にテープ廻り止め用突出部8を挿通し、この上からテープカセットを収納することが考えられるが、このようにしてもテープカセットを取り出す際ケース本体1の開口部を下方に向けてテープカセットを取り出すと、これと一諸に備品も飛び出してしまうことがある。

この考案は上記欠点を除去するためなされたもので、取扱説明書やインデックスカード等の備品を必要なときのみ容易に取り出せるようケース本体内部に確実に収納することができ、これら説明書やカード等の管理を容易にできるカセット収納ケースを提供することを目的とする。

以下、この考案の一実施例を図面に従い説明する。第2図において11はポリプロピレン等の合成樹脂よりなるケース本体で、このケース本体11は上方面と一方の短側面を開口している。そしてこのようなケース本体11の対向する長側面の内面に夫々開閉蓋係止部例えば凸部12を形成する。この凸部12はケース本体11の底面に近接し且つこの底面に沿って所定の長さを有するもので、



この凸部 1 2 とケース本体 1 1 の底面との間で後述する取扱説明書やインデックスカード等の備品 1 7 を収納可能にしている。

一方上記ケース本体 1 1 の他方の短側面に開閉蓋 1 4 を一体に成形する。この開閉蓋 1 4 はケース本体 1 1 の開口部を開閉するもので、両側縁に下方向に延出する側片 1 4 a, 1 4 a を形成し、これら側片 1 4 a, 1 4 a の先端部に上記凸部 1 2 に係止される係止部例えば凸部 1 5 を形成している。

また、上記開閉蓋 1 4 の表面にはケース本体 1 1 に収納されるテープカセット（図示せず）のテープハブ廻り止め用突出部 1 6 が形成されている。

このように構成したカセット収納ケースではまず、図示のように開閉蓋 1 4 を開いた状態で、取扱説明書やインデックスカード等の備品 1 7 をケース本体 1 1 の底面と開閉蓋係止用凸部 1 2 の間に挿入し、この間で保持される。そして、この状態からケース本体 1 1 内にテープカセット 1 8 を収納し開閉蓋 1 4 を閉じる。すると開閉蓋 1 4 の凸部 1 5 がケース本体 1 1 内の凸部 1 2 に係止さ



れ開閉蓋 14 の閉状態が保たれる。この状態を第 3 図に示している。ここで第 3 図は第 2 図と同一部分には同符号を付している。また、この場合図示していないが蓋 14 に形成された突出部 16 がテープカセット 18 のハブ穴に挿入されている。

従って、このような構成によれば取扱説明書やインデックスカード等の備品 17 をケース本体 11 の底面と開閉蓋係止用凸部 12 の間に必要のときのみ取り出せるよう収納できるのでその後開閉蓋 14 を開いてテープカセット 16 を取り出すときもこれと一諸に備品 17 が飛び出すようなことを確実に防止できる。また、仮にテープカセット 16 を取り出すのに第 4 図に示すようにケース本体 11 の開口部を下に向けて取り出すような場合でも上述のように備品 17 はケース本体 11 内に確実に保持されているので備品 17 の脱落を防止することもできる。これにより取扱説明書やインデックスカード等の備品の管理が容易になり、これら備品を紛失したり、汚したり、あるいは破いてしまうような不都合を全て除去できることになる。



尚、この考案は上記実施例にのみ限定されず要旨を変更しない範囲で適宜変形して実施できる。

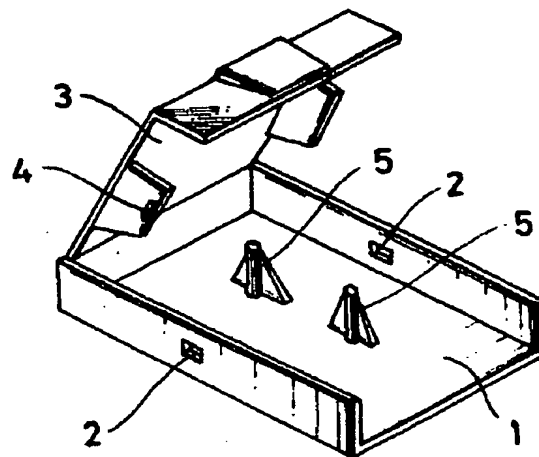
以上述べたようにこの考案によれば取扱説明書やインデックスカード等の備品を必要なときのみ容易に取り出せるようケース本体内に確実に収納することができ、これら説明書やカード等の管理を容易にできるカセット収納ケースを提供できる。

4. 図面の簡単な説明

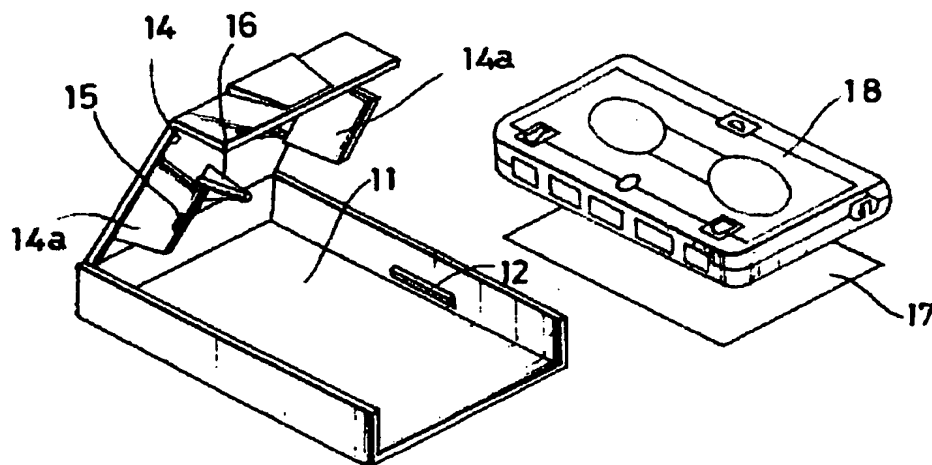
第1図は従来のカセット収納ケースの一例を示す斜視図、第2図はこの考案の一実施例を示す斜視図、第3図は同実施例のテープカセットを収納した状態を示す横断面図、第4図は同実施例を説明するための図である。

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1, 11 … ケース本体 | 2 … 係合穴 |
| 3, 14 … 開閉蓋 | 4 … 突起 |
| 5, 16 … テープハブ廻り止め用突出部 | |
| 12, 15 … 凸部 | 17 … 備品 |
| 18 … テープカセット | |

第 1 図



第 2 図



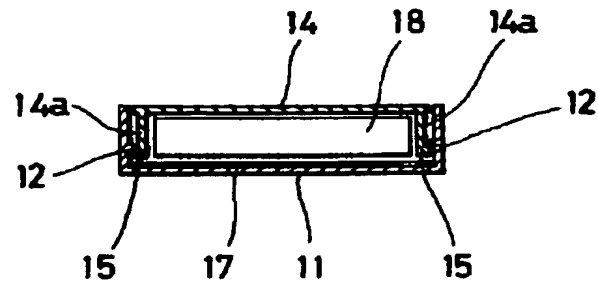
149872 1/2

出願人 オリンパス光学工業株式会社

代理人 弁理士 小 宮 幸 一

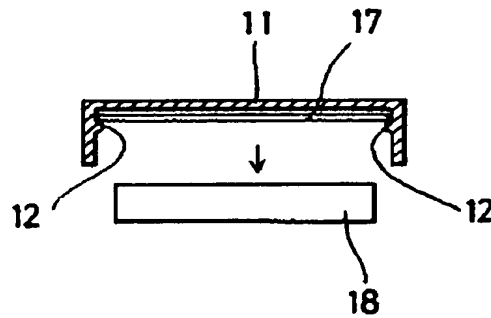
4102672

第 3 図



一、
印
幸
士

第 4 図



149872 7/2

出願人 オリンパス光学工業株式会社

代理人 弁理士 小 宮 幸 一 士

41026 2/2

辦理
士

5. 添付書類の目録

(1) 委任状	1 通
(2) 明細書	1 通
(3) 図面	1 通
(4) 願書副本	1 通

6. 前記以外の考案者

(1) 考案者

1490-2